

肥満とやせについて

今回は日本内分泌学会・日本糖尿病学会・日本病態栄養学会・日本甲状腺学会専門医の松浦文三院長に「肥満とやせ」について伺いました。



▲松浦 文三 院長

中、脂肪肝 月経異常・不妊症、睡眠時無呼吸症候群、変形性膝関節症、腎臓病、癌などです。

一方やせは、BMI

も増加傾向にあります。一方、やせは男性では減少傾向ですが、女性では横ばいから増加傾向にあります。

18.5未満としています。

肥満治療の基本は、食

肥満は、からだに脂肪が蓄積した状態を指し、本邦ではBMI(体重/身長/身長²)25以上

関連する健康障害は、低栄養、貧血、骨粗鬆症、骨折、フレイル(虚弱)、月経異常・不妊などです。

事・運動療法、行動療法ですが、BMI 35以上の高度肥満例では、減量が困難です。2024年

ち、肥満に関連する健康障害を合併する例や内臓肥満例は、医学的に減量

以上、成人女性の2割以上で、増加傾向にありま

から「肥満症」に対する薬物治療が保険診療で可能となりました。今治市

が必要な「肥満症」という病

す。また非肥満で内臓肥満、いわゆる「かくれ肥満」は男性の26%、女性

施設でしかできません。肥満・やせが気になる方は、専門病院の受診をお

連する健康障害は、糖尿病、脂質異常症、高血圧

の6%にみられ、肥満

は、専門病院の受診をお勧めします。

症、痛風・高尿酸血症、心筋梗塞・狭心症、脳卒

であるが筋量・筋力低下の「サルコペニア肥満」

社会福祉法人 済生会今治第二病院

今治市北日吉町1丁目7番43号

<https://www.imabari.saiseikai.or.jp/site/saiseikai-imabaridai/>

☎0898-23-0100

